


**LABOUR  
RIGHTS AT THE**

**OF QUALITY  
PUBLIC SERVICES**

[www.world-psi.org](http://www.world-psi.org)

 Cartagena, COLOMBIA  
7-12 September 2010

## IAMRECON 2010 : 労働権は質の高い公共サービスの要

300名近い労働組合員が、2010年9月7日-12日にコロンビアのカルタヘナで開催された第10回PSI米州地域総会 (IAMRECON) と関連会合に出席した。これは、北米と中南米のPSI加盟組合が5年に一度集結する機会である。

参加者は、経済危機、経済規制、質の高い公共サービスの擁護と貧困撲滅における国家の役割について議論した。各国の労働組合権侵害状況も長時間話し合われた。参加者は、本地域で起こった自然災害後の救援行動をめぐる国際連帯活動、

復興活動、現地開発についても検討した。

部門別ワークショップは、水、自治体、大学、裁判所、電力、保健および国家行政部門のそれぞれの行動計画の策定が焦点であった。その他に、ジェンダー、若年労働者、レスビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダー、人種、移住、気候変動問題を扱う各ワークショップが開かれた。

米州地域総会の報告は、[www.world-psi.org/IAMRECON](http://www.world-psi.org/IAMRECON) でご覧ください。■

## カナダとEUが自由貿易協定の細部を詰める 協定反対キャンペーン側からの報告

 カナダと欧州連合の包括的経済貿易協定 (CETA) 交渉を妨げるためのキャンペーン初日 (2010年7月19日)。

ブリュッセルでも、オタワの熱波並みの暑さ。政治的批判を高めることを目指して、まずブリュッセルを拠点とする Corporate Europe Observatory (CEO) の事務所で、この一週間の私たちの計画について話し合い、提案されている自由貿易協定が及ぼす影響を数名のCEO活動家と議論した。彼らは、この協定案がいかに広範なものであるかを知って驚愕し、NAFTA (北米自由貿易協定) では個々の企業が民主的に選出された政府の決定に対して異議を唱えることができること (CETAでも同様のことが提案されている) に特に関心を示した。

その後、欧州議会前で酪農家のデモに参加した。市場開放によって生活が脅かされる酪農家の状況を示すために燃やされたゴム長靴のあまり芳しくない臭いと煙で、さらに暑さが増した。私たちはカナダからの連帯の挨拶と共に、もしCETAが成立したらいかに彼らの闘いの困難が増すことになるかを伝えた。

そこから、私たちは欧州労連に向かい、単なる「自由」貿

易圏になりつつあるEUに社会条項を復活させようとする欧州労連の困難なキャンペーンにCETAが及ぼす影響について、上級オフィサーと話し合った。特に政府調達には、単純な最低入札で決めるのではなく、社会条項も考慮されるべきである。CETAの下では、政府調達におけるそのような配慮が皆無とまではいかずとも、劇的に減少することに注目する。また、この協定に異議を唱えない限りは、NAFTAに関する不満な要素がすべてヨーロッパにも忍び込むであろうことも指摘しておく。

興味深い一日であった。政府の交渉担当者は市内のどこかに閉じ込められ、市民と市民のニーズを犠牲にして再び金儲けと商業の神々に屈する合意に歩み寄ろうとしている。彼らの仕事をやりにくくするためにもっと活動しなければならないが、私たちはやる気十分であり、まずは良いスタートを切った。■

この記事は、全国公務一般労組 (カナダ) の書記長兼財政局長であるラリー・ブラウンが、2010年7月にブリュッセルを3日間訪れた際の、オンライン日記から抜粋したものである。PSI/EPUSとカナダの公務労組は協力して、欧州連合とカナダ間の自由貿易協定の潜在的悪影響への関心を喚起している。[www.themarknews.com](http://www.themarknews.com)